臺灣新民報
本日夕刊共六頁
臺灣日日新報 第一万五千百八十四號 昭和十七年六月十四日（日曜日） 明治卅一年五月九日第三種郵便物認可（毎二ノ一）

我が戰爆連合の荒鷲 桂林に壯烈な空中戰 P四〇型九機を擊墜

【南京十三日發同盟】支那派遣軍報道部十三日正午發表
我が戰爆連合の航空部隊は六日十二日午前八時桂林飛行場を攻撃し、同地上空において米國製、勇軍飛行隊カーチスホークP四〇型十一機と壯烈なる空中戰を交へ其九機（內不確實二機）を擊墜せり、わが方の損害二機

陸鷲再び廣信を襲撃 市內諸施設に必中彈

【浙江前線十三日發同盟】敵第二戰區の航空隊は浙贛作戰開始、上陸東方の敵陸、ひた押しに南北二十里の線を進撃中のわが航空隊は十三日撓部が天候をおもんぱかり金山附近に集結して整備に努めつゝあるを發見するや直ちに出撃して敵の集結を爆撃、これを粉砕した、斯くて前後の一角に蝟集した敵火をやがて西南部の山野に追ふわが戰闘機は敵機を捕捉して徹底的な追撃戰を展開しつゝあり、今次作戰の第四段階たる金溪、廣信の敵陸海航空基地の破壊を目的として出

社說

拓南皇民錬成機構確立す
常住日本人たるの覺悟せよ

一　南方諸地域に於ける新秩序建設を期するの聖戰は、本格的長期戰の段階に入つた。從つて南方諸地域の開發は、單なる資源の獲得のみならず、大東亞共榮圏の確立に不可缺の要件であり、その開發の成否は、實に大東亞戰爭の歸趨を決する重大なる鍵である。

二　かかる觀點に於て、南方諸地域の開發は、本島に於て、特に重要な意義を有するものであるが、一面に南方進出といふ、國運發展の新使命に對處する爲には、本島人自身の南方に對する認識と覺悟とを、根本的に改革することが必要である。

三　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、單なる海外發展ではなく、寧ろ内地延長の意義を有するものであり、從つて本島人は、すべて從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

四　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

五　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

六　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

七　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

八　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

九　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

十　南方諸地域の開發は、本島人にとつては、從來の内地人的感覺を一擲して、南方諸地域の開發に、内地人と同樣の熱意と覺悟とを以て當らなければならない。

バス企業統合完了
路線等級別に運賃劃一化
戰時陸運體制強化確立

臺北州下バス業者の整備統合は昨年七月九日臺北市に於て全島業者を網羅し、臺北州統制會社の強化確立を目的として會員以外、能率增進事業に於ける統制會社の統制に服さざる業者は、一切これを排除する事に決定、同時に會員中に於ても、整備能率、新化粧、旺盛なる奉仕心の缺如せるものは、これを排除する事に決定、茲に全島バス業者の合理的統合を斷行し、戰時陸運體制の强化確立を期すべく、去る十二月一日を以て全島バス企業統合の實施を見るに至つたが、その後の經過は極めて順調に推移し、統合參加業者は、臺北州下十五業者（二十五營業所）、新竹州下十業者（十二營業所）、臺中州下十業者（十二營業所）、臺南州下十業者（十二營業所）、高雄州下十業者（十二營業所）、花蓮港廳下一業者（二營業所）、澎湖廳下一業者（一營業所）、合計五十六業者（七十營業所）、車輛數一千二百餘臺、從業員數二千餘名に達し、茲に全島バス業者の統合は完了した。

臺北商議所議員候補の推薦受諾者

臺北商工會議所の臨時總會は十日午後一時より十一日にかけ開かれた臨時總會に於ては日本人に未定議員候補中であるが現在選擧されてゐる者の氏名は次の如くである。

△一級（一名）＝星野直樹、川本泰助、吉岡喜一、江口日治一、今井定吉、大久保榮治

△二級（三名）＝野正雄、松本義雄、星田孝太郎、林德藏、横井文彌、小川榮一、田川榮藏、横張長、淵文彌、林德藏（十三日附立候補の際の届出に付訂正）

臺北商議所民議立候補届出

臺北商工會議所の臨時總會の當選議員候補者選擧は十一日午後一時より十二日にかけ行はれたが、同選擧に於ては日本人に未定議員候補中であるが現在選擧されてゐる者の氏名は次の如くである。

△一級（一名）＝星野直樹、川本泰助、吉岡喜一、江口日治一、今井定吉、大久保榮治

△二級（三名）＝野正雄、松本義雄、星田孝太郎、林德藏、横井文彌、小川榮一、田川榮藏、横張長、淵文彌、林德藏（十三日附立候補の際の届出に付訂正）

臺北州統制會社
決定した財産評價

臺北州統制會社設立委員會は十五日午後一時より州廳會議室に於て開かれ、出席委員全員の協議により、左記の如く決定した。

一、官有地　一坪に付　一圓
一、民有地
一、一般地目　一等地　三錢五厘
二、二等地　三錢
三、三等地　二錢五厘
四、一般地目の最低一等、最高五錢

密林二百米先に 白煙一條
五人の斥候蘭兵發見
ボルネオ殘敵掃蕩從軍記

【東部ボルネオ十三日發同盟】ボルネオ島○○において蘭印軍最後の拠点たる○○飛行場を占領した我が○○部隊は、その後も引続き同島の敵殘存兵力の掃蕩に邁進しているが、○○部隊の○○部隊長○○少佐は十二日朝○○飛行場を出發、○○○

藝能各分野を動員
強力な防諜啓發宣傳
十二日から防諜週間實施

【東京電同盟】大東亞戰爭の口火を切る敵米英の暴戾と傲慢とを撃滅するため、國民の戰意を昂揚し、敵國の謀略を封殺するため、「防諜週間」は來る七月一日から八日までの一週間實施の運びとなつたが、この「防諜週間」は四十三日から十二日までの十日間に亘り全國民に徹底的に防諜思想を普及するため、講演會、映畫會、演藝會、座談會、ラジオ、新聞、雜誌等を動員して、この期間中に國民總ぐるみの防諜體制を確立することになつた、この防諜週間には各藝能團體、映畫會社、興行團體、新聞社、ラジオ等が協力することになつたが、この協力ぶりは全國民に防諜思想を徹底させるばかりでなく、敵米英の謀略を封殺するに充分な效果を擧げるものと期待されてゐる、なほ防諜週間實施に關する具體的方策は目下情報局で研究中であるが、大體次の如きものとなるであらう

一、防諜週間實施に關する件
二、防諜週間實施に關する各種團體の協力に關する件
三、防諜週間實施に關する各種團體の協力に關する件
四、防諜週間實施に關する各種團體の協力に關する件

貯蓄奬勵協議
臺中州の方途決る

【臺中電話】臺中州では二十日午後九時から州廳會議室に、管内各郡市の貯蓄奬勵關係者を集めて、貯蓄奬勵に關する協議會を開催することに決定した、この協議會では各郡市における貯蓄奬勵の方途について協議する筈である

夏季鍊成計畫
新竹州で近く協議會

【新竹電話】新竹州下中等學校では夏季休暇を利用して學生生徒の鍊成を計畫してゐるが、州當局では學生生徒の鍊成に關する具體的方策を樹立するため、近く關係者の協議會を開催することになつてゐる

赤誠の獻金
軍司令部（計三）

國防獻金　四千圓也　臺北市七星町　臺北市役所

國語常用徹底
新竹近く運動開始

【新竹電話】新竹州では國語の普及徹底を期するため、國語常用運動を展開することとなつたが、新竹州國語普及會では、五月中旬から六月中旬までを國語常用運動期間と定め、この期間中に國語の普及徹底を期する方針で、州下各市郡ごとに國語常用運動實施要綱を作成し、各種團體の協力を求めることとなつた

優しい"親孝行者"
故平野隊長の嚴父語る

【臺中電話】南方作戰に偉大な戰果を擧げつゝある陸軍○○部隊○○隊長陸軍中將平野正三郎氏の故郷中島郡○○村○○○

臺灣新民報
本日夕刊共六頁
臺灣日日新報 第一万五千百八十四號 昭和十七年六月十四日（日曜日） 明治卅一年五月九日第三種郵便物認可（毎二ノ一）

我が戰爆連合の荒鷲 桂林に壯烈な空中戰 P四〇型九機を擊墜

【南京十三日發同盟】支那派遣軍報道部十三日正午發表
我が戰爆連合の航空部隊は六日十二日午前八時桂林飛行場を攻撃し、同地上空において米國製、勇軍飛行隊カーチスホークP四〇型十一機と壯烈なる空中戰を交へ其九機（內不確實二機）を擊墜せり、わが方の損害二機

陸鷲再び廣信を襲撃 市內諸施設に必中彈

【浙江前線十三日發同盟】敵第二戰區の航空隊は浙贛作戰開始、上陸東方の敵陸、ひた押しに南北二十里の線を進撃中のわが航空隊は十三日撓部が天候をおもんぱかり金山附近に集結して整備に努めつゝあるを發見するや直ちに出撃して敵の集結を爆撃、これを粉砕した、斯くて前後の一角に蝟集した敵火をやがて西南部の山野に追ふわが戰闘機は敵機を捕捉して徹底的な追撃戰を展開しつゝあり、今次作戰の第四段階たる金溪、廣信の敵陸海航空基地の破壊を目的として出